

LLL100 弁論法

1年 3,4クォーター

担当教員 Walter Tsushima

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 月曜日・2時限 又は 水曜日・3時限

授業概要

このコースでは、公の場でより効果的に自信を持って話せるように指導する。分かりやすく、人を引きつけるスピーチの原稿を書き、練習し、実践する過程を明らかにする。口で伝えるコミュニケーションと書いて伝えるコミュニケーションの特性を理解しながら、スピーチをする側にとって話しやすく、聞く側にとっても分かりやすいスピーチにするにはどうすればいいのか、その方法を学ぶ。

スピーチ力を高める最良の方法の1つは他人のスピーチを研究することである。スピーチやスピーカーを選んで分析する機会を多く設ける。またスピーチをする人たちを分析して、模範となるスピーカーは誰だと思ふかとか、その人のスピーチを効果的なものになっているものは何なのかについて議論する。自分自身のスピーチや他人のスピーチを批判的に分析する。

到達目標

1. 基本的な議論を分かりやすく組み立て、それを明確に伝えることができる。
2. 情報を伝えるプレゼンテーションを分かりやすく組み立て、それを明確に伝えることができる。
3. 複雑な議論をなるほどと思わせるように構築し、説得力を持って伝えることができる。
4. 話す速さ、発声、動き、声調を適切に使い分けながら、自信を持って話すことができる。
5. 洞察眼を持ってスピーチを評価し、批判することができる。

先修科目

なし

教科書・参考資料等

資料は週ごとに配付する。

授業の方法

このコースはワークショップ形式なので、学生は授業への積極的な参加が求められる。担当教員は、毎週新しいトピックを導入しやすくする。学生はクラス内で課題を遂行し、ディスカッションを行う。

成績評価

出席と授業への貢献が強く求められ、評価の際に考慮される。また、課題や研究に常に取り組みことが求められる。

成績

25%	プレゼンテーション1
25%	プレゼンテーション2
25%	ホームワークと小テスト
25%	出席とクラスへの貢献

授業スケジュール

- 1週目：コースの概要、主要な用語の説明、最初の簡単なスピーチ
- 2週目：即興スピーチの基本
- 3週目：要点の洗い出し、整理、言語化
- 4週目：スピーチを行う
- 5週目：情報伝達型スピーチの基本
- 6週目：情報伝達型スピーチの目標、制約、機会

- 7 週目：発表の仕方
- 8 週目：スピーチを行う
- 9 週目：説得型スピーチの基本
- 10 週目：現状と立証責任
- 11 週目：話し方に気持ちを込める
- 12 週目：スピーチを行う
- 13 週目：自分自身に合った話し方を見つける：自分で分析する
- 14 週目：スピーチの主題と目的についてよく考える
- 15 週目：プレゼンテーションの準備
- 16 週目：スピーチを行う

事前・事後学習

- ・予習：参考図書の該当する章を予習してくること（1時間程度）。
- ・復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。